



LEATT ネックブレースの ここがすごい!!

1// 社外研究機関やライダーによる性能テスト

非着用時に比べて頸椎損傷リスクを最大89%軽減
※アメリカ 社外機関調べ(Action Sports EMS)

2// 鎖骨の形状に合わせた前面プレート

非着用時に比べて鎖骨損傷リスクを45%以上軽減
※アメリカ 社外機関調べ(Action Sports EMS)

3// 前後プレートの優れたサイズ調整機能

個人の体型や装着プロテクターに合わせたカスタマイズが可能

3-1// 前後プレート位置

6.5 / 5.5(大人用) : 前4段階、後ろ6段階
5.5(子供用) : 前3段階、後ろ4段階
3.5(共通) : 後ろ2段階

3-2// 背面プレート角度

6.5 : 3段階(0°、5°、10°)
5.5 : 4段階(0°、5°、10°、15°)

4// 強固過ぎないプレート設計

ネックブレース装着によるケガを防ぐため、強い負荷が掛かった時はプレートが壊れることで人体へのダメージを軽減



1// INDEPENDANTLY LAB AND RIDER TESTED



2// COLLARBONE RELIEF CUT OUT



3// SUREFIT ADJUSTER SYSTEM

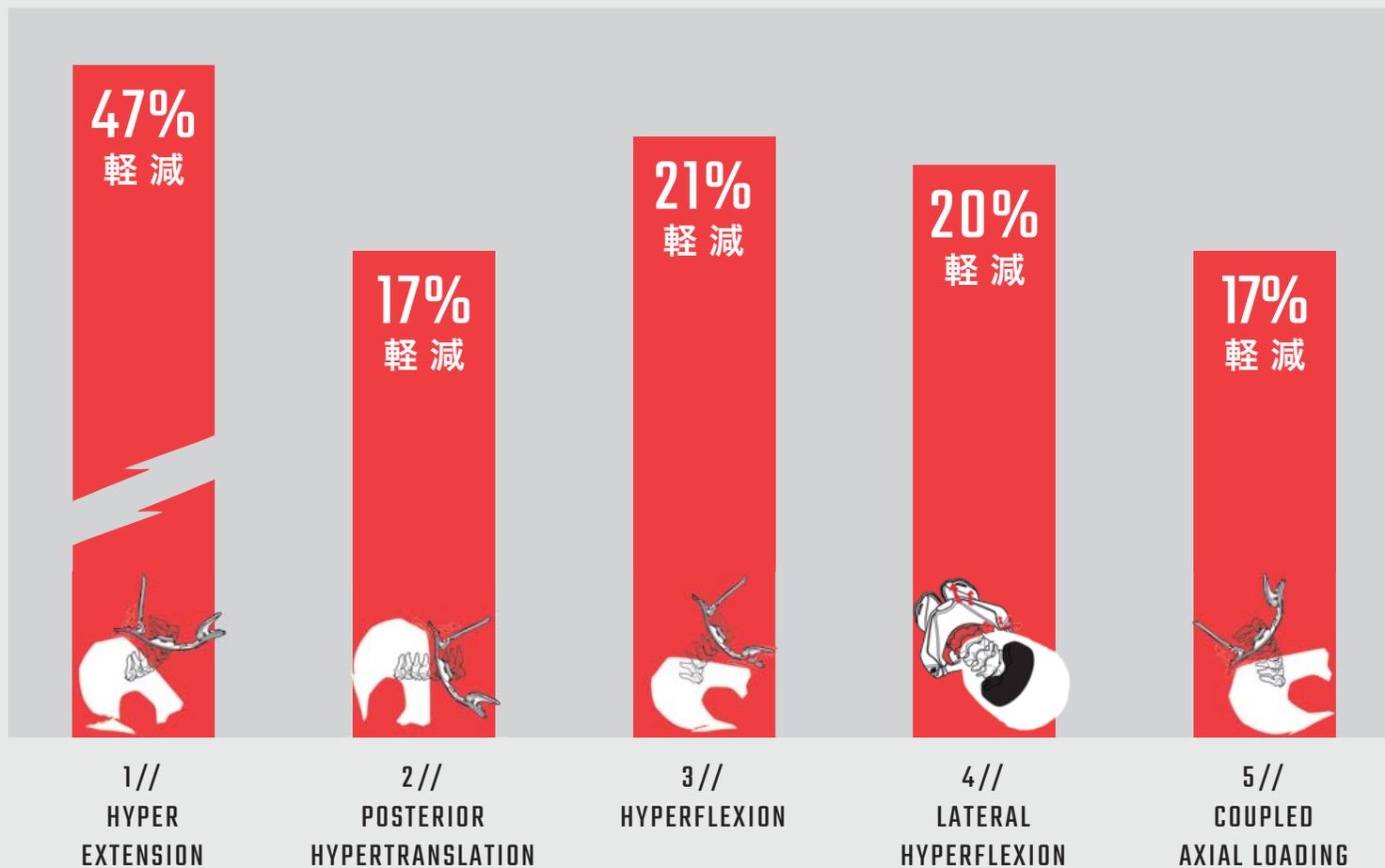


4// BREAKAWAY THORACIC

ネックブレース 着用 VS 非着用

非着用時と比較した時の衝撃軽減率

RESULTS FROM LEATT®'S IN-HOUSE LABORATORY TESTING



※LEATT社 自社研究所調べ



1 // HYPEREXTENSION

前頭部から衝撃を受け、首が後ろ方向に過度に曲がること

2 // POSTERIOR HYPERTRANSLATION

正面から衝撃を受け、頭やヘルメットが後ろ方向に過度に動くこと

3 // HYPERFLEXION

頭頂部から衝撃を受け、首が前方向に過度に曲がること

4 // LATERAL HYPERFLEXION

側頭部から衝撃を受け、首が横方向に過度に曲がること

5 // COUPLED AXIAL LOADING

頭頂部から衝撃を受け、首が圧迫されてしまうこと